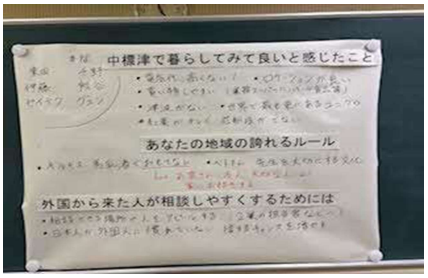
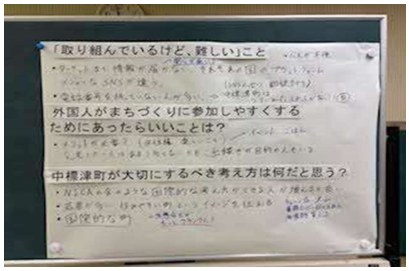
【　ＣＩＲ（国際交流員）との意見交換会　答申ポイント東田案　】

日　時：令和７年 12 月 16 日(火) 15 時 00 分～16 時 50 分
場　所：中標津町役場　202 会議室
出席者：ＣＩＲ ２名（キルギスとベトナム出身）、経済振興課主幹
　　自治推進会議委員３名、東田ファシリテーター、事務局４名　　合計 11 名





答申ポイント

① 今回の対話の中では、条例への改正点は無かったと感じている。
② 自治推側の希望として、答申書に記載できそうなことがあったように思った。
・とはいえ、入れるかどうか？は、自治推でしっかりとした検討が必要である。
例えば、
・ベトナムだと町内会などもあるから同じ感覚で入りやすいので、町内会対策として、何か策が講じられるか？
・外国人のための必要なこととして、Wi-Fi 環境を増やす、プラットフォームを検討するなど？、雪への情熱を上手く使う（雪像作りなど）、いきなり町単位ではなく地域単位での集まりへのお誘いなど。
・柔軟性もあり海外的な考え方も持っていて、日本的な考え方もわかるために、高木先生のような人を増やす（NICA の会(中標津 international culture association)という国際交流を目的とした団体の方)、勉強会や集いを主催する？
・「国際的なまち」にするための方策を、町民みんなで考えるなど？

③ 実際に暮らす外国人が増えたことから、解説書に入れられるようなエピソードが有るかも？
エピソードの例として、
・買い物がしやすい。日本の店では販売していないものも簡単に手に入れられる。
・町内のお店が外国人に配慮し、外国人向けの食材や調味料等も揃えていて感動した。
・安全だと思う。特に地震の時は津波の心配はないと思っている。
・彼ら留学生は自転車に乗るので、警察と協力して乗り方の勉強会などを行っている。
・CIR が日本語の勉強会を立ち上げ、生徒を募集している。ぜひ日本人も参加してほしい。
・中標津町民がまだ外国人に慣れていない、なかなか英語を話せない遠慮というか、どういうふうにコミュニケーションを取っていいかわからないなど。（しかし実際には、子どもたちはすごく楽しく遊んでくれるし、子どもが来ると親も来るので、新しい人が来てくれる）
・中標津町のいいところとして、Free Wi-Fi が多い。